

平成24年度 公園利用者懇談会 議事録(概要)

開催日時;2月1日(金) 13:30~14:45

場所;公園協会 研修室

出席者 公園協会;高橋常務、森屋課長、中村係長、千田、野崎、石田
出席委員;別紙のとおり

会議は式次第に基き、進められた

主な意見・質問は次のとおり。

【報告事項;公園愛護会アンケート集計結果について】

- ①全体的には公園管理について、協会はかなり頑張っているという印象だ
注意点としては中高木については、刈込み過ぎないようにしないと
弊害が出てしまうので、そのことを現場サイドにも徹底してほしい
- ②野草でも貴重なものがあるので、研修会などを開催し、
職員が共通認識を持つなどすることが有効だと思う。
- ③街区公園は、子どもの居場所として大切なので、公園を増やしてほしい。
また、利用しやすい環境にしてほしい
- ③について協会からコメント;ボール遊びを禁止はしていない。
人に迷惑をかけないように利用してほしいというのが、趣旨だ。
- ③について市からコメント;街区公園は概して小さいので、ある程度の制約は避けられない
公園の配置計画も含め、整備する必要性は認識している。
各世代の意見を公園整備に活かすべく、ワークショップ形式で
計画案を策定している。
遊具の選定にあたり、近隣保育園児にアンケートを実施した。

【協議事項;公園におけるイベントのあり方について】

- ①期間・回数などを制限した上で、イベントに音の出るものを
取り入れることはPRにもなり、良いことだと思う。
- ②山崎にはもともと古典芸能といわれるものが伝承されており、
イベント時にそのようなものを披露することも放送設備を使用しなければ
良いと思う。
- ③中央公園開設時のコンセプトとして必要のないものはやめようということであった。
放送設備もその観点から非常用の位置づけであった。
時代とともに変化していくことは否定しないが、余計な音を立てないような
配慮は必要だろう。
従って、放送設備を使用し、長時間音を流すことは好ましくないが、
音を出す催し物を否定するものではない。
ただ、開園当初の経緯の中で、近隣と何か約束事がなかったかどうか確認したほうが良い。
- ④多少の障害があっても、イベントのもたらす効果が大きいことを認識すべきだ。

これら意見に対し公園協会から、本日出された意見を「中央公園管理運営協議会」に報告し、
協会としての対応を確定していきたいとコメントした。

【その他(自由意見)】

- ①鯉に餌やりすると池が富栄養化するので、協会としてもそのことを啓発してほしい。

②中央公園拡大計画について聞きたい

②について市からコメント;平成28年度までに整備し、29年度当初にはオープンする予定である。

③永福寺の今後の管理体制はどうか。

③について市からコメント;文化財サイドが所管しているので、今後の整備方針・管理体制をどのようにするのは、コメントする立場にない。

④中央公園のエレベーターにも聴覚障害者対策をしてほしい。

公園利用者懇談会 委員名簿

管理サイド

鎌倉自主探鳥会グループ 代表世話役
鎌倉グリーンボランティアの会 代表
山崎・谷戸の会 事務局長
鎌倉市公園・街路樹愛護会連絡会 地域代表(腰越)

利用者サイド

鎌倉老人クラブ連合会 総務部長代理
鎌倉市身体障害者福祉協会 会長
鎌倉市立小学校教頭会 代表(関谷小学校)
鎌倉市立保育園園長会 代表(腰越保育園)
鎌倉市青少年指導員連絡協議会 副会長
鎌倉市体育協会 副会長

安全・安心

鎌倉防犯協会 会長

鎌倉市

都市整備部公園課 担当課長
